

教師ノート

週課	第三年 第一〇課 第四週
単元	分裂王国時代
テーマ	人ではなく主に信頼する
タイトル	ヒゼキヤ王
テキスト	II 列王記 18 章、19 章、II 歴代誌 29 章-32 章
参照箇所	イザヤ 36 章、37 章
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい) 詩篇 118:8	
AG 日曜学校教案参照箇所	
□導入 今まで北イスラエル王国の様子を見てきましたが、今日は南ユダ王国のお話をしましょう。南ユダ王国も、多くの王様が神様に従わず好き勝手に悪いことをしていました。しかし、何人かは真剣に神様を信じて従う王様もいたのです。今日はその中の一人ヒゼキヤ王をとりあげます。	
□ポイント1 ヒゼキヤ王を通してユダの人々の信仰が回復させられました ヒゼキヤ王様は南ユダ王国の王様でした。お父さんのアハズ王様はアッシリヤの国と親しくしていてそこから入り込んできた偽物の神様を拝んでいました。ユダの人々もみな偶像を拝んでいたのです。しかし、ヒゼキヤは本当の神様を信じていました。ヒゼキヤは王様になると壊れてぼろぼろになっていた神様の宮を修理し、もう一度モーセの律法をきちんと読みなおし、忘れ去られていた過ぎ越しの祭りを回復させました。偽物の神様、偶像は壊しました。そしてユダの人々にまことの神様を礼拝するように教え、ヒゼキヤ王とユダの人々は再びまことの神様を喜んで礼拝するようになったのです。	
📖(18:4)「青銅の蛇」…モーセの時代に出エジプトして荒野を放浪中に不信仰ゆえに蛇にかまれて死ぬという神の裁きにあった時、神の憐れみによって救いのしるしとして用いられたものであったが、時の経過と共に偶像礼拝の対象として用いられていたようである。	
□ポイント2 アッシリヤ王国が南ユダ王国に攻めてきました ところが、とても力の強い大きな国アッシリヤがユダの国に攻めてきたのです。町は次々に占領されて、じわじわとエルサレムの都に近づいてきます。ヒゼキヤは何とか助からないかと金や銀の宝物をアッシリヤの王様に送って出て行って下さいと頼みましたがとてもそんな願いを聞いてくれるような相手ではありません。それなら、とエジプトの王様に助けを求めましたがそれもかないません。ついにエルサレムの都はアッシリヤの大群に取り囲まれてしまいました。 アッシリヤの大軍を率いるラブ・シャケが大声でエルサレムの街の人々に呼びかけました。「ヒゼキヤは一体何を頼りにしているのか。どんな神様だ！我々にかなうはずがない！守ってなんかくれないぞ！」將軍はそう言って神様をばかにしたのです。ユダの人々はただ一言も答えずに我慢しました。ヒゼキヤ王様にそう言われていたのです。	

□ポイント3 神様はヒゼキヤ王の祈りに応えて大勝利を与えて下さいました

途方に暮れたヒゼキヤは神様の宮に入り祈りました。そして、預言者イザヤに祈ってくれるように頼みました。するとイザヤはやって来て「アッシリヤの者たちの言葉を恐れるな！必ず私が助ける」という神様の約束の言葉を伝えました。しばらくすると、再びアッシリヤの王様から手紙が届きました。そこには以前と同じように神様をばかにする内容が書かれていました。「お前の信じる神様にだまされるな！アッシリヤから逃れられるとでも思っているのか！」そこで、ヒゼキヤはすぐに主の神殿に上りその手紙を神様の前に広げて真剣に祈りました。「神様、あなただけがまことの神様です。あなたをばかにするアッシリヤからの手紙をご覧ください。私たちを助けて下さい！そうすれば人々はあなたこそ真の神であることを知ることができます！」神様は預言者イザヤを通して「あなたの祈りを私は確かに聞いた。アッシリヤがこの町に入ってくることはない。私がエルサレムを守るから。」と約束して下さいました。

そして、その夜、神様は天の御使いを送って何と一晩のうちにアッシリヤの軍隊を倒して下さいました。

□結論 神様はご自身に信頼する者を助け守られるお方です

□適用（聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう）

あなたは絶体絶命の大ピンチになったことがありますか？私たちは助けが必要な時、すぐに目に映るものに助けを求めてしまうかもしれません。しかし、ヒゼキヤ王が大ピンチになった時、神様は人ではなく私を信頼するようにと導かれたのです。人間の力、人間の考えには限界があります。しかし、神様は無限のお方です。神様にはできないことは何もないのです。私たちもヒゼキヤ王にならって何よりもまず神様に信頼して、神様の助けを求めましょう。あなたが今助けを必要としていることは何ですか？